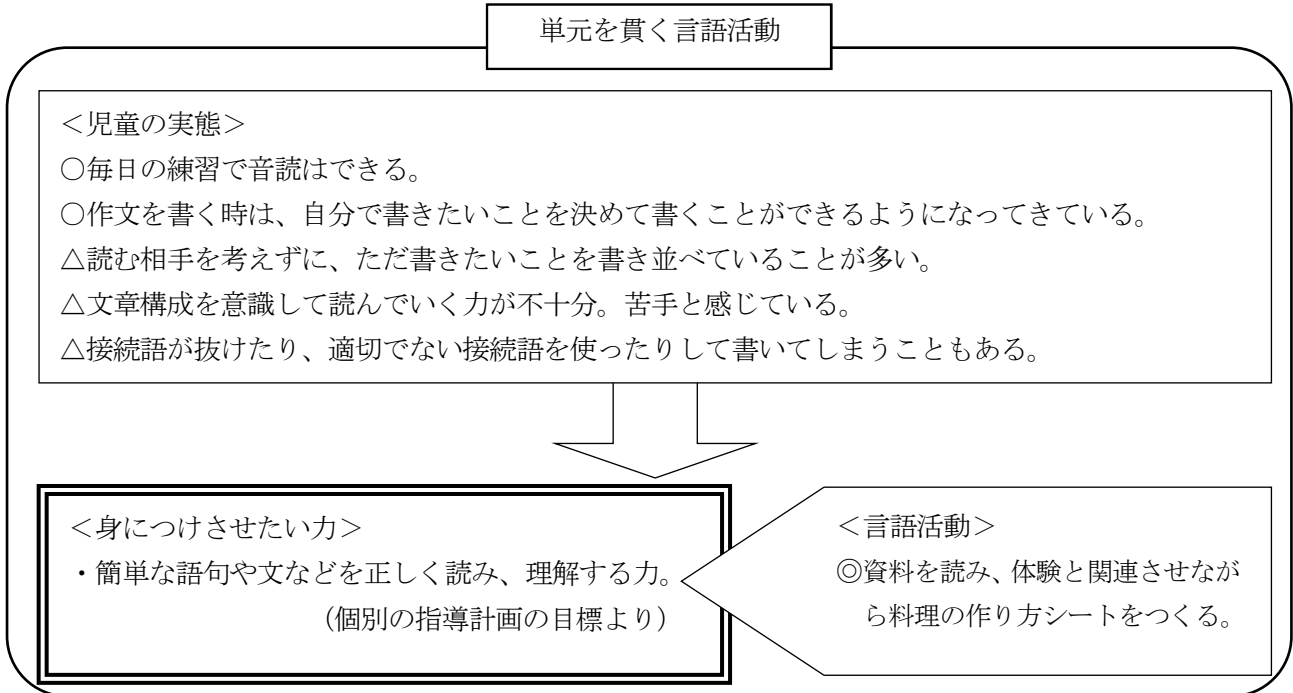


特別支援学級 国語科学習指導案

日 時 平成26年11月7日(金) 14:15~15:
 児 童
 授業者

1. 単元名 サツマイモ料理の作り方を書こう
 ~作り方を簡単な言葉で表そう~
2. 身につけさせたい力と単元を貫く言語活動の構想



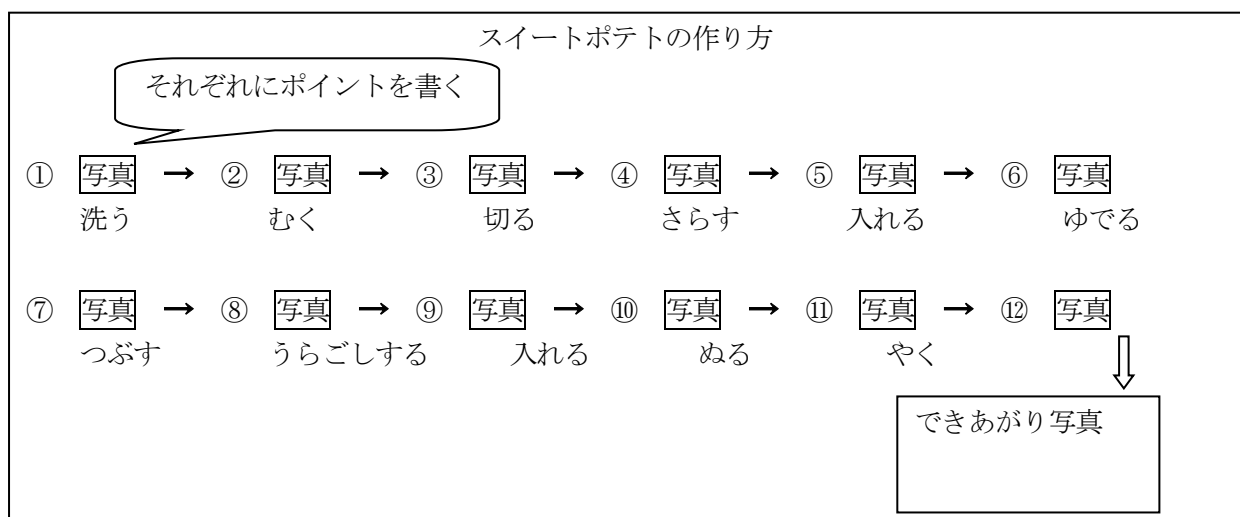
3. 国語の個別の指導計画 (本単元に関わる内容 ◎)

領 域	目 標	具 体 的 内 容
話す・聞く	見聞きしたことなどを簡単な言葉で話す。	<ul style="list-style-type: none"> ・教室などで、話をする人の方を見て、聞く。 ◎自分で経験したことや見聞きしたことを、教師などに簡単な言葉で話す。 ・簡単な言葉で、依頼や訴えをする。 ◎具体物や絵カードなどと単語や文字カードなどのマッチングをする。
読 む	簡単な語句や短い文などを正しく読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な文などや映像(視聴覚教材)などを見たり聞いたりしてその内容を楽しむ。 ◎写真などに添えられた文を読むことに興味をもつ。 ・促音や長音などの含まれた語句や短い文を正しく読む。
書 く	簡単な語句や短い文を平仮名などで書く。	<ul style="list-style-type: none"> ◎絵や写真などを見ながら思い出し、教師と一緒に簡単な文を書く。 ・簡単な語句や短い文を、平仮名や漢字を使って書く。 ・平仮名の簡単な語句を見て書き写す。 ・鉛筆などを正しく持ち、正しい姿勢で書く。 ・点線の上をなぞって書く。 ・簡単な図形をまねて書く。

4. 単元について

(1) 言語活動の特徴

単元を貫く言語活動は、資料を読み、体験と関連させながら料理の作り方シートをつくることである。サツマイモ料理の作り方を書いている資料から大事な言葉（すること）を書き抜き、体験したことと関連させながら、1年生にもわかるサツマイモ料理の作り方シートにまとめていく。その際、ポイントを児童の言葉から引き出していき、語句の理解力をつけていきたい。この1年生にもわかるサツマイモ料理の作り方シートをつくる活動を通して、簡単な語句や文などを正しく読み、理解する力を身につけさせていく。



(2) 指導にあたって

特別支援学校小学部学習指導要領において、知的障がいである児童に対する教育を行う特別支援学校の国語における目標は「日常生活に必要な国語を理解し、伝え合う力を養うとともに、それらを表現する能力と態度を育てる」とある。日常生活をおくる上で、人とのコミュニケーション能力を重視し、自分の思いを表現し伝えることは豊かな生活を送るために必要な力である。国語を理解し表現していくために、児童のもつ語彙を広げることは必要なことである。児童の実態から学習内容を生活と結びつけることで、言葉にかかわる関心を高めるとともに語彙を増やしていければと願っている。

そこで本単元は、次のように単元を構成していく。

第一次では、インターネットを使ってサツマイモ料理やお菓子を調べ、その中からスイートポテトを作ることに決める。その後、担任が実際にその料理を調理し、それを写真に残しておく。その後、スイートポテトを1年生と作るために、スイートポテトの作り方シートをつくっていくという見通しをもたせる。

第二次では、スイートポテトの作り方が書いている資料から大事な言葉（すること）を書き抜き、第一次で調理した写真と合わせていく。この活動を通して、語句の意味を理解させていく。また、実際の調理の時の様子を想起させながら、それぞれの作り方毎にポイントを児童から引き出し、記述していく。その際、1年生に分かるように一言でまとめさせていきたい。

第三次では、第二次で作成したスイートポテトの作り方シートを1年生に分かるような声の大きさや速さで説明させた後、一緒に調理実習を行う。

5. 単元の目標

- ・スイートポテトの作り方シートをつくることがわかり、見通しをもって活動に取り組むもうとする。
- ・資料から大事な言葉（すること）を書き抜くことができる。
- ・体験したことを想起しながら、語句の意味を正しく理解することができる。

6. 単元の指導計画（7時間）

次	時	目標	主な学習活動	評価
第一 次	1	・スイートポテトを1年生と作るために、スイートポテトの作り方シートをつくっていくという見通しをもつことができる。	・サツマイモを使った料理やお菓子を何種類か試食し、その中からスイートポテトを選ぶ。 ・インターネットでスイートポテトの作り方を調べる。 ・教師がスイートポテトを作っているのを見る。 ・1年生にスイートポテトの作り方を教えることを知る。 ・教師と一緒に学習計画を立てる。	・学習の見通しをもつことができたか。
	2			
第二 次	3	・資料から大事な言葉（すること）を書き抜くことができる。	・資料を読む。 ・資料から、「すること」だけを書き抜く。 ・意味の分からない言葉に印を付ける。	・資料から大事な言葉（すること）を書き抜くことができたか。
	4	・見たことを想起しながら、書き抜いた言葉の意味を正しく理解することができる。	・書き抜いた言葉と第一次で教師が調理した場面の写真を合わせる。 ・合わせたものを順番通りに貼っていく。	・体験したことを想起しながら、書き抜いた言葉の意味を正しく理解することができたか。
	5	・ポイントを思い浮かべ、スイートポテトの作り方シートをつくることができる。	・前時に作った作り方シートに、教師とのやりとりを通して思い出したポイントを記入していく。	・ポイントを思い浮かべ、スイートポテトの作り方シートをつくることができたか。
第三 次	6	・スイートポテトの作り方を1年生に説明することができる。	・声の大きさ・速さに気をつけて説明の練習をする。 ・1年生にスイートポテトの作り方を説明する。 ・調理の間にポイントを1年生に教える。	・スイートポテトの作り方を1年生に説明することができたか。
	7			

7. 本時の学習（4時間／7時間）

(1) 目標

- ・見たことを想起しながら、書き抜いた言葉の意味を正しく理解することができる。

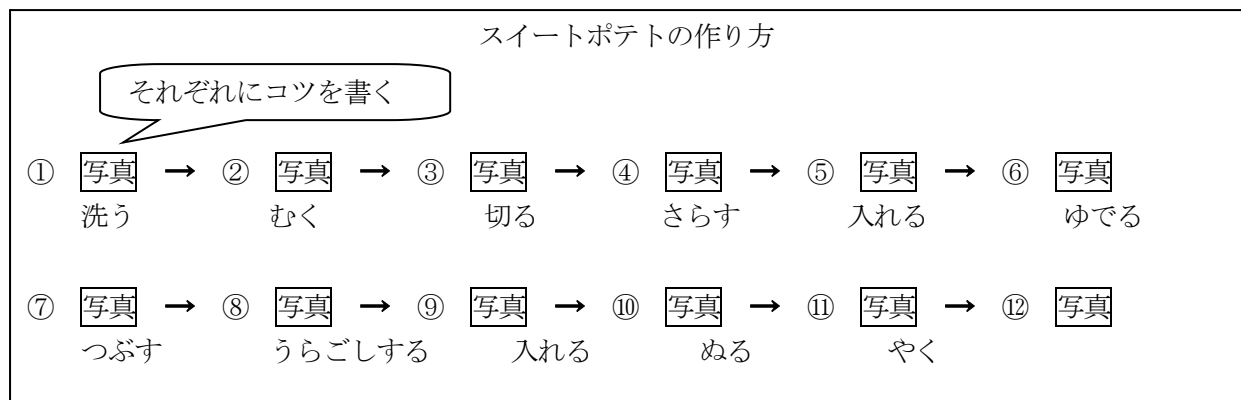
(2) 児童への支援

- ・簡単なやり取りをすることで児童の言葉を引き出す。

(3) 展開

段階	学習活動	・教師の支援
導入 13分	1 始まりの挨拶をする。 ・児童が号令をかけ、挨拶をする。 2 学習内容を知る。 ・本時の流れを確かめ見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">書いた言葉と写真を合わせて順番にはっていこう。</div> 3 ドリル学習をする。 ・言葉を広げるためのコミュニケーションスキルを行う。	・学習内容を掲示する。 手立て2 ・速さに気をつけながらはっきり読むように促す。 ・児童の様子をつかみ、良い点を褒めて意欲をもたせる。
展開 25分	4 書き抜いた言葉と写真を合わせる。 ・書き抜いた言葉とばらばらに置いた写真を合わせる。 5 合わせたものを順番通りに貼っていく。 ・資料を読み、写真と言葉が合ったカードを並べかえる。 ・資料をもう一度読み、並べ間違いがあったら直す。 6 できたものを発表する。	・調理の場面を想起させ、何をしている場面の写真なのかを教師と対話しながら見つけていくようにする。 ・言葉と合わせることに迷いがあった場合は、写真の動きが分かるように教師が実際に演示する。 ・つまずいたところは、資料を読み返すことを促す。 ・順番に貼っていけるように数字の書いてあるシートを準備しておく。 ・一緒に読んで確かめる。 ・速さに気をつけながらはっきり読むように促す。
終末 7分	7 学習を振り返る。 ・学習したことを発表する。 8 次時の学習を確かめる。 9 終わりの挨拶をする。 ・児童が号令をかけ、挨拶をする。	・発表後、活動の良かったところを評価する。 手立て4 ・次時はポイントを書いてスイートポテトの作り方シートを完成させていくことの意欲付けをする。

8. 板書計画



《資料》

○材料 (10 人分)

- ・サツマイモ 200 g のもの約 1 本分
- ・砂糖 (上白糖または三温糖) 20 g
- ・生クリーム 20 g
- ・バター 10 g
- ・卵黄 1 個 (照り用)
- ・はちみつ 小さじ 1 杯分 (つや出し)
- ・黒ごま

○作り方

- 1 サツマイモは洗って皮をむいてから、1 cm 位に切る。
- 2 塩を少し入れた水に 3 分さらす。(あく抜きのため)
- 3 サツマイモが隠れるまでの水を入れる。
- 4 サツマイモに串が刺さるまでゆでる。(10 分位)
- 5 サツマイモをマッシャーや木べらでつぶす。
- 6 裏ごしをする。
- 7 水分を飛ばすようし、砂糖 20 g、バター 20 g、生クリーム 20 g を加える。
- 8 サツマイモを小さくした感じに形を作りアルミカップに入れる。
- 9 卵黄やはちみつを上の方にぬる。
- 10 黒ごまのをせたらオーブンで 7 分程焼き、きれいな焼き色がつくまで加熱する。